

平成 19 年度文化庁委嘱

「生活者としての外国人」に対する日本語教育事業
外国人に対する実践的な日本語教育の研究開発事業報告書

対話を中心とした交流活動のカリキュラム

平成 20 年 3 月 31 日

学校法人吉岡教育学園
千駄ヶ谷日本語教育研究所

はじめに

この報告書は、平成19年度、学校法人吉岡教育学園が文化庁より委嘱を受け実施した『「生活者としての外国人」に対する日本語教育事業（外国人に対する実践的な日本語教育の研究開発）」の事業結果をご報告するものです。

法務省の統計によれば、平成18年末の外国人登録者数は208万人を数え、総人口に占める比率は1.63%に上るとされております。登録者数、人口比率とも年々上昇傾向にあり、また、永住者・定住者・日本人の配偶者を加えると登録者の65%を超えており、確実に定住化が進んでいるという現状がわかります。

私どもの学校法人は、1975年創立の千駄ヶ谷日本語教育研究所を筆頭とするグループを構成しております。千駄ヶ谷日本語教育研究所は理念として、以下の3つを掲げております。

- ・すべての国の人が、日本語を楽しく学び、使う場を提供する。
- ・多様化する国際社会に必要な相互理解力の育成をはかる。
- ・日本語教育を通して国際交流を深め、国際親善の一翼を担う。

これらの理念に基づき、地域の日本語教育についても、支援者の養成、カリキュラム開発、教材作成、教室運営などの面でいろいろな団体を支援してきました。この度の事業におきましては、そうした経験の蓄積を如何に活かすか、当初から考え、取り組んで参りました。

地域の日本語教室は実に様々ですが、私どもが支援してきた団体はいずれもクラス授業形式で運営されております。そこで当初は、クラス授業形式で、日本語を学んだことのない入門者を支援する教室を想定し、カリキュラム開発の検討を致しました。しかし、地域の教室の実情調査や運営委員会での検討を経て、交流活動を主体とし、外国人と支援者が双方向の交流をしていく中で良好な関係を構築していくためのカリキュラム開発に軌道修正しました。そして、日本語学校のクラスで行われる学習者と教師との対話のノウハウを中心に据えて、この冊子を取りまとめました。

外国人の定住化が進む中、地域のコミュニティの中で、地域の一員として周囲の人たちと円滑にコミュニケーションをとりながら生活する外国人をいかに支援していくかについては、今後ますます議論されていくものと存じます。

長らく地域の日本語教室の支援をしてきた中で、私どもは、地域の教室こそ国際化社会の最前線にあつて、多文化共生社会を実現していくための、まさに鍵とも言える存在であると実感しております。外国人も日本人も住みよい社会にしていくために、このカリキュラムがお役に立てればこれに勝る喜びはございません。

何分、限られた時間で取りまとめましたので、内容的にまだまだ検討の余地があるかと存じますが、このカリキュラムが、多くの地域の教室で運用され、現場での活用を通してさらに磨かれますよう期待しております。

また、日本語教育機関においても、会話のクラス活動などでお役立ていただければと存じます。

この事業にご協力いただきました地域の教室の皆様、国際交流団体等の皆様、委員をお引き受けいただいた皆様に対しまして、厚く御礼申し上げます。

千駄ヶ谷日本語教育研究所

学校法人吉岡教育学園
千駄ヶ谷日本語学校
豊島日本語学院

理事長 吉岡正毅

目 次

はじめに

第1部 事業報告

1. 事業概要	1
(1) 趣旨・目的	1
(2) カリキュラム作成上の理念	1
(3) カリキュラムの内容	3
2. 事業の活動報告	6
3. 参考文献	7
4. 運営委員名簿	9

第2部 カリキュラム使用例

このカリキュラムを使用する方へ	13
活動の流れと留意点	14
カリキュラムの使用例	16
コミュニケーション・ツールの例	22

第3部 カリキュラム

生活編1 「買い物に行こう！」	27
生活編2 「食べてみよう！飲んでみよう！」	33
生活編3 「病気になったら！？」	39
生活編4 「地域の生活ルールを知ろう！」	46
生活編5 「乗り物に乗ろう！」	51
生活編6 「トラブルに遭ったら！？（遺失物・盗難）」	56
生活編7 「トラブルに遭ったら！？（事故・火事）」	60
生活編8 「トラブルに遭ったら！？（災害）」	64
お付き合い編1 「まわりの人と知り合おう！」	69
お付き合い編2 「誘ってみよう！お願いしてみよう！」	73
お付き合い編3 「身だしなみについて話そう！」	77
お付き合い編4 「趣味について話そう！」	83
お付き合い編5 「家族を紹介しよう！」	87
お付き合い編6 「年中行事について話そう！」	91
お付き合い編7 「困ったこと・びっくりしたことについて話そう！」	95

第 1 部 事業報告

1. 事業概要

(1) 趣旨・目的

外国人の地域社会への流入に伴って、地域住民との文化的摩擦や、外国人に対する生活支援、日本語支援を必要とする状況が顕著になってきている。地域社会では、隣人が外国人であるという多文化共生社会が急速に進行しつつある。こうした中、地域の住民同士が協力し合って、住みよい社会を築いていく必要がある。そのためには、まずお互いを知り、理解することが求められる。地域の日本語教室はそのような活動の最前線であり、それを実現できる場である。そのような場を、この事業を通して作っていかねばと考えている。

このような重要な役割を担った地域の日本語教室で、外国人と日本人が交流を図ろうと思っても、外国人との交流経験が少ない支援者の場合、何らかの話のきっかけとなる話題や物がないと、交流活動を展開するのはなかなか難しいのではないだろうか。そこで、話のきっかけとなる話題や物を盛り込んだカリキュラムを作成し、日本語交流活動の支援者に十分な交流活動の経験がなくても、交流活動がスムーズに展開できるようにした。それを通して、外国人の日本語習得が促され、交流参加者の相互理解も一層図られるようにした。

このような日本語を介した交流活動を通して、外国人も日本人も住みよい多文化共生社会を作り上げていくことをこの事業では目指している。

(2) カリキュラム作成上の理念

① 活動の中心は「おしゃべり」

様々な文化を持つ者同士がある地域で快適に暮らしていくためには、お互いを知り、理解し合うことが必要である。そして、お互いを知り理解し合うのに最もよく行われる方法は、相手が同国人であれ外国人であれ、時間を共有しその場に適した話題で「おしゃべり」をすることであろう。そして、時間の共有、「おしゃべり」の機会が何回も繰り返されることによって、人と人との関係は近くなり、親しくなっていく。これは経験的な事実として理解できよう。このカリキュラムは、お互いを知り理解し合う方法である「おしゃべり」を活動の中心としている。そして、多文化という環境の中で、学習者と支援者が共に学び、共にその地域で快適に暮らせるように相互理解を深めていくことを目指している。

ここで「おしゃべり」という言葉を用いたのは、例えば「それぞれの国の文化の違いについて」のようなテーマで話し合う、つまり、議論という堅苦しい言葉のやりとりではなく、「自分の好きな食べ物」のような身近な話題で気軽に言葉を交わすことが、お互いを知り理解し合う、最も一般的なきっかけではないかと考えるからである。

身近な話題での「おしゃべり」はまずは自分のことを語ればよい。「自分の国では」、「日本では」などと自国を代表した発言をする必要はない。話し手は自国のことについてすべて知っているわけではない。もし、自国について知らないことを問われたとき、話し手にとってそこでの言葉のやりとりはかなりの重荷になるであろう。また、せっかく続いていた言葉のやりとりが中断されてしまうことも容易に想像できる。「おしゃべり」は自分の知っていること、自分の語りたいことを気楽に語ればよい。大切なのは個人的な内容で語り合うことである。そして、このような「おしゃべり」が、個人的で具体的な内容から社会問題などの抽象的な話題へと展開し、議論できたなら、相互理解もさらに深まるであろう。

② 「おしゃべり」の中で学び合う

例えば、食べ物を話題として自分の好みについて「おしゃべり」をする場合、自分の好きな食べ物を言葉として表現しなければならない。しかしながら、その食べ物の名称やどんな食べ物なのかを学習者と支援者が双方にわかっていなければ、ここでのおしゃべりは成立しない。話し手が聞き手に自分の好みの食べ物を言葉にし伝えようとしても、聞き手にその言葉を理解する力がなければ伝わらない。話し手は言いたいことが伝わらない「もどかしさ」を感じるだろう。そして、この「もどかしさ」を感じる状況は、話し手、聞き手にとって、できるだけ避けたいと思うのが普通であろう。

しかし、このカリキュラムにおいては、この「もどかしさ」を感じた時こそ最も学習に適した状況であると考えられる。この「もどかしさ」(例えば、自分の好きな食べ物の名称やどんな食べ物なのか伝わらない場合)は、その食べ物の名称を文字にしたり、絵を描いたり、媒介語を用いて説明したり、あるいは写真があるならばそれを用いて示したりするなど、様々な方法で克服することができる。そして、この克服のプロセスにおいて学習の機会が数多く生ずると考える。克服の方法には様々なものがある。交流活動において最も効率よく相互理解を促進する方法であれば、基本的にどんな方法でも構わない。例えば、日本国内の日本語学校では、媒介語を用いず、日本語だけで日本語を教える直接法が主流である。しかし、交流活動を日本語のみで行うとしてしまうと、学ぶ方法を限定してしまうことになる。媒介語の使用が最も効率のよい相互理解の方法であるならば、その際は媒介語を交えて「おしゃべり」をするほうがよいだろう。相互理解の方法を初めからいくつかに限定する必要はない。

このように「もどかしさ」に直面した場合、学習者と支援者があらゆる方法を使ってその「もどかしさ」を克服し、相互に学び合うことを重視するのがこのカリキュラムの特徴である。支援者は学習者に何かを教えようという意識を持つ必要はない。支援者も学習者から学べるものはどんどん学ぶとよい。そして、「もどかしさ」は学習者と共に様々な方法で解消し、相互理解のために「おしゃべり」をすることに専念すればよい。

③ 話題中心のカリキュラム

「おしゃべり」の中で学び合うことをこのカリキュラムの特徴とするわけであるから、カリキュラムの内容もいくつかの話題で構成されている。その話題は、相互理解のために話題として取り上げられるだろうと思われるものを、「生活編」と「おつきあい編」とに分けて示してある。また、話題ごとにどのように「おしゃべり」を展開するのかという手順や、「もどかしさ」を解消するツールなどが示されている。

ただ、ここで示したものは、このとおり活動を進めなければならないというマニュアルではない。あくまでもサンプルである。このカリキュラムで取り上げた話題で「おしゃべり」を始めても、示された展開どおりに活動を進める必要はない。また、「もどかしさ」を解消するツールも示されたとおりのものを作成する必要はない。このカリキュラムを基に、学習者と支援者とがその時その時に作り上げる場において自然な話題の展開や必要なツールを考えて活動を行うことが望まれる。

支援の場は、地域によって運営の方法も学習者も実に多様である。その多様性に応じてこのカリキュラムにどんどん手を加えていけば、最終的にはその地域に合ったカリキュラムが出来上がるだろう。それがこのカリキュラムの最も望ましい活用方法である。

(3) カリキュラムの内容

当学校法人吉岡教育学園を含む千駄ヶ谷日本語教育研究所グループでは、これまでに東京都・埼玉県・神奈川県国際交流協会が運営する地域の日本語教室の支援活動を行ってきた。支援内容は、実際に日本語交流活動に参加し支援することだけではない。これらの教室では対話型の授業を行える支援者が必要とされており、現在でもそのニーズに応える形で、支援者の育成も行っている。

こうした地域の日本語教室の支援を通してわかることは、創立以来32年にわたり研究し蓄積してきた当グループの日本語教育と日本語教師養成の教育内容や方法が、応用次第でかなり活用できるということである。例えば、千駄ヶ谷日本語教育研究所の日本語教師養成講座では、教師が教え学習者が聞き役に回る一方方向の授業ではなく、教師と学習者が学び合い教え合うような双方向の授業ができるよう教師養成を行っている。この養成のノウハウは、日本語教授法について十分学んだことのない支援者の育成にも役立っている。そして、このノウハウは、そのような支援者が活用しやすいカリキュラム作成にも十分生かすことができる。

このような背景から作られたカリキュラムの最終的な目標は、「多文化共生という環境の中で、お互いが住みよい社会を築き上げる」ものである。そして、このカリキュラムの特徴は以下の通りである。

①カリキュラムの特徴

- ・言語形式に焦点を当てた文型積み上げ式のカリキュラムではなく、話題中心のカリキュラムである。
- ・活動の中心は、学習者と支援者の間で展開されるおしゃべりである。
- ・おしゃべりの中で話せなかったことや自分の知らない事柄が出てきたときに、相互に学び合い、理解を深めていくことが自然にできるカリキュラムである。
- ・今までの経験や持っている知識を介しておしゃべりをするカリキュラムで、学習者・支援者共に成人を主な対象としている。
- ・各回完結型で、どの回からでも始められる。従って、継続的に参加することが困難な学習者でも支障なく活動に参加できる。
- ・学習者が学ぶだけでなく、支援者も異なる考え方や新たな視点を学んでいけるカリキュラムである。
- ・各回に複数の交流活動が設定されており、各活動の目安の時間も記されている。また、話のきっかけとなる話題や物が盛り込まれているので、外国人との交流経験が少ない支援者にとっても活用しやすいカリキュラムである。
- ・使用される地域の特性に応じて運用できるカリキュラムである。

当初は、最終的な目標に「日本語能力試験3級水準の日本語を、日常生活で十分運用できる能力を身につけさせる内容とする」というように、日本語能力試験という枠組を意識していた。そして今年度は、カリキュラム開発の前提となる地域実情調査とその分析を行い、カリキュラムの主な骨子を確定させ、日本語能力試験4級水準の運用力が身に付くカリキュラムの完成を目指すこととして、事業を開始した。

しかし、地域の日本語教室の実情調査や運営委員会での検討を通して、地域におけるコミュニケーションの中で必要とされる言語材料が日本語能力試験の3級水準といったような枠では収まり切らないという結論に達し、こうした枠組は考えないことにした。また、

当初は、日本語について全く学んだことのない外国人を、日本語の教授法について十分学んだことのない支援者が教えるという環境を設定していた。しかし、これも地域の日本語教室の実情調査や運営委員会での検討を通して、「日本語を教える」「日本語を学ぶ」という当初のイメージそのものを、多文化共生を目指す地域の教室の在り方に即して変更することとした。そして、交流活動を中心に据える必要があるとの認識に立ち、ある程度コミュニケーションが取れる外国人と地域の教室である程度交流活動を経験している支援者が活動を共にするというのを念頭に、カリキュラム開発を行った。

活動の中心はおしゃべりであるので、カリキュラム作成者が実際にテーマに沿っておしゃべりをするところから作業を始めた。各自の日本語クラスでの経験からアイディアを出し合い、おしゃべりが弾むような話題やおしゃべりが自然に進むような展開を考えた。実際、おしゃべりは楽しく、カリキュラム作成者間の相互理解が深まった。このような一連のプロセスを投影する形でこのカリキュラムが開発された。従って、地域の日本語教室でも楽しいおしゃべりが展開され、様々なことが学ばれ、相互理解が深まることと自負している。

②想定する環境等

- ・ 想定する環境：都市及びその周辺地域の日本語教室。

交流活動は、支援者一人が学習者数名と行う規模を想定する。これを1グループの単位として考える。地域の教室には、こうしたグループが一つ、もしくは複数存在することを想定する。

しかし、支援者と学習者が1対1でも使用可能である。

- ・ 想定する学習者：日本語で簡単なコミュニケーションが取れる（買い物ができたり、自分や周りの人に関わるについて簡単な話ができたりする）レベル以上の成人の外国人。
- ・ 想定する支援者：地域の日本語教室等で交流活動に関わった経験がある方。

③カリキュラムの主な内容

- ・ 構成：生活上必要な場面別の「生活編」8編と、自分がどういう人間かを周囲に知ってもらい、付き合いを深め、徐々にコミュニケーションの場を広げていくための「お付き合い編」7編とで構成されている。

- ・ 生活編1 「買い物に行こう！」
- ・ 生活編2 「食べてみよう！飲んでみよう！」
- ・ 生活編3 「病気になったら！？」
- ・ 生活編4 「地域の生活ルールを知ろう！」
- ・ 生活編5 「バス・電車に乗ってみよう！」
- ・ 生活編6 「トラブルに遭ったら！？（事故・盗難・遺失物）」
- ・ 生活編7 「トラブルに遭ったら！？（救急・火事）」
- ・ 生活編8 「トラブルに遭ったら！？（防災編）」
- ・ お付き合い編1 「まわりの人と知り合おう！」
- ・ お付き合い編2 「誘われたら！？」
- ・ お付き合い編3 「身だしなみについて話そう！」
- ・ お付き合い編4 「趣味について話そう！」
- ・ お付き合い編5 「家族を紹介しよう！」

- ・お付き合い編6 「年中行事について話そう！」
- ・お付き合い編7 「困ったこと・びっくりしたことについて話そう！」

- ・各回の内容

- ・交流のテーマ ……その回で取り上げる主なテーマを示す。
- ・コミュニケーション・ツール
……学習者と支援者がイラストなどを指さしてコミュニケーションを図れるようなツール。その例を示す。
- ・交流の流れ ……交流活動の流れを一覧形式で示す。
- ・交流の内容 ……個々の交流活動の流れを目安となる時間も含めて具体的に示す。

2. 事業の活動報告

- ①カリキュラム開発の前提となる地域実情調査等の検討……平成19年10月～11月
- ②カリキュラム開発の前提となる地域実情調査……平成19年12月～平成20年3月
……支援している国際交流協会をはじめ、国内各所の日本語支援団体の関係者等に対する対面インタビュー、教室活動の見学、現場で使用している教材の参照等を通して、カリキュラムの方向性を検討するための実情調査を行った。

【実施した地域実情調査】

- ・東京都台東区内の日本語教室 ……平成19年12月
 - ・神奈川県横浜市内の日本語教室 ……平成19年12月
 - ・千葉県千葉市 千葉市国際交流協会 ……平成19年12月
 - ・秋田県能代市 のしろ日本語学習会 ……平成20年2月
 - ・沖縄県那覇市 琉球大学・沖縄国際大学……平成20年2月
 - ・静岡県浜松市 財団法人浜松国際交流協会 HICE ……平成20年3月
 - ・福岡県福岡市 財団法人福岡県国際交流センター……平成20年3月
- ③ 地域実情調査結果の分析と会議報告 ……平成20年1月～3月
 - ④ カリキュラムの概要検討と会議報告 ……平成19年12月～平成20年3月
 - ⑤ カリキュラムの執筆 ……平成20年1月～3月

3. 参考文献

- ・文化外国語専門学校編(1992)『楽しく聞こう I』文化外国語専門学校
- ・文化外国語専門学校編(1992)『楽しく聞こう II』文化外国語専門学校
- ・日本語ボランティア講座編集委員会(1996)『いま！日本語ボランティア「日本語ボランティア講座」東京』凡人社
- ・寺田和子・山形美保子・三上京子・和栗雅子(1998)『日本語の教え方ABC』アルク
- ・宮城幸枝・三井昭子・牧野恵子・柴田正子・大田淑子(1998)『毎日の聞きとり 50 日 初級編 上』凡人社
- ・宮城幸枝・三井昭子・牧野恵子・柴田正子・大田淑子(1998)『毎日の聞きとり 50 日 初級編 下』凡人社
- ・門脇薫・西馬薫(1999)『みんなの日本語初級 やさしい作文』スリーエーネットワーク
- ・福岡日本語センター「日本事情」プロジェクト(2000)『話そう考えよう 初級日本事情』スリーエーネットワーク
- ・榎本年弥(2001)『旅の指さし会話帳 JAPAN「英語版」』情報センター出版局
- ・麻生晴一郎・郭雅坤(2002)『旅の指さし会話帳 JAPAN「中国語版」』情報センター出版局
- ・鈴木深良(2002)『旅の指さし会話帳 JAPAN「韓国語版」』情報センター出版局
- ・グループにほんごでボランティア(2002)『日本語でボランティア 外国語として日本語を教えるって』スリーエーネットワーク
- ・社団法人国際日本語普及協会(2002)「平成 13 年度文化庁委嘱『「地域日本語教育活動の充実」事業報告書 地域日本語教育指導員(コーディネータ)研修 地域日本語教育活動推進シンポジウム』」
- ・社団法人国際日本語普及協会(2003)「平成 14 年度文化庁委嘱『「地域日本語教育活動の充実」事業報告書 地域日本語教育支援コーディネータ研修 地域日本語教育活動推進シンポジウム 日本語教育相談業務活動報告』」
- ・文化庁(2004)『地域日本語学習支援の充実ー共に育む地域社会の構築へ向けてー』国立印刷局
- ・春原憲一郎・中村律子・谷啓子・與那覇麻孔(2004)『にほんご宝船 いっしょに作る活動集』アスク
- ・春原憲一郎(2004)『にほんご宝船 教える人のための知恵袋』アスク
- ・土屋千尋(2005)『つたえあう日本語教育実習ー外国人集住地域でのこころみ』明石書店
- ・むさしの参加型学習実践研究会(2005)『やってみよう「参加型学習」！日本語教室のための 4 つの手法ー理念と実践』スリーエーネットワーク
- ・国際交流基金関西国際センター(2005)『初級からの日本語スピーチ』凡人社
- ・社団法人国際日本語普及協会(2005)「平成 16 年度文化庁委嘱『「日本語ボランティア活動の支援・推進事業」報告書 地域日本語支援コーディネータ研修 日本語ボランティア研修 地域日本語教育活動推進シンポジウム 日本語教育相談業務活動報告』」
- ・谷本雅世・西村秀人(2006)『旅の指さし会話帳 JAPAN「スペイン語版」』情報センター出版局
- ・沢田幸子・福家枝里・武田みゆき・三輪香織(2006)『日本語おしゃべりのたね』スリーエーネットワーク
- ・社団法人国際日本語普及協会(2006)「平成 17 年度文化庁委嘱『「日本語ボランティア活動の支援・推進事業」報告書 地域日本語支援コーディネータ研修 日本語ボランティア研修 地域日本語教育活動推進シンポジウム 日本語教育相談業務活動報告』」
- ・麻生晴一郎・郭雅坤(2007)『暮らしの日本語指さし会話帳 3 中国語版』情報センター出

版局

- ・ 中村マゼラン太郎(2007)『暮らしの日本語指さし会話帳2 ポルトガル語版』情報センター出版局
- ・ 池田広子(2007)『日本語教師教育の方法ー生涯発達を支えるデザイナー』鳳書房

4. 運営委員名簿

- 石井恵理子 (東京女子大学准教授)
- ◎ 伊東 祐郎 (東京外国語大学教授)
- 内田美和子 (千駄ヶ谷日本語教育研究所教育研究企画室)
- 梶村 勝利 (東京日本語ボランティア・ネットワーク代表)
- 久保田怜男 (財団法人日本力行海外協会理事長)
- 小山 紀子 (千駄ヶ谷日本語教育研究所養成部門部長講師)
- 齋藤ひろみ (東京学芸大学准教授)
- 佐々木文子 (久喜市国際交流協会副会長)
- 新山 忠和 (学校法人吉岡教育学園豊島日本語学院校長)
- 吉岡 正毅 (学校法人吉岡教育学園・千駄ヶ谷日本語教育研究所理事長)
- 吉川 正則 (中間法人応用日本語教育協会理事)

五十音順・敬称略

◎は委員長

○はカリキュラム作成担当

第2部 カリキュラム使用例

【このカリキュラムを使用する方へ】

1. この冊子に盛り込まれているのは、「カリキュラム」です。「テキスト」ではありません。地域の日本語教室の支援者の皆さんが、このカリキュラムを基にして、皆さんの地域や学習者に合ったものに発展させていってください。例えば、あとに出てくる「コミュニケーション・ツール」の中には言葉の一覧がありますが、皆さんの教室に合わせて言葉を選んで作成してください。
2. このカリキュラムは、日本語で簡単なコミュニケーションが取れるレベル以上の学習者を対象に、地域の日本語教室で交流活動に関わった経験がある方が使用することを想定しています。
3. このカリキュラムは、日本語を文法積み上げ方式で、段階的に教えるためのものではありません。もっと気楽なおしゃべりを通して、学習者と地域の教室の支援者の皆さんが、心地いい関係を築くためのものです。
4. 皆さんは教室で、学習者と対等な立場であるということを意識してください。教室では、「教える人」「教えられる人」は固定されてはいません。支援者の皆さんが学習者から教わることもたくさんあります。対等な立場でおしゃべりをしてください。
5. 学習者または支援者のだれかが話を切り出すことによって、周りの人たちも話してみようという気持ちになるものです。まずは、おしゃべりのきっかけを作ってください。そのきっかけを作るのは、学習者でも支援者でも構いません。
6. 全体は、生活編1～8、お付き合い編1～7から成っていますが、どこから始めても構いません。
7. 各回はおよそ2時間の構成になっており、それぞれの活動に目安の時間が書かれていますが、各回の中でも活動の順番を適宜変えたり、時間配分を変えたりして、アレンジして構いません。また、すべての活動が終わらなくても構いません。
8. 各回には複数の交流活動が含まれていますが、それぞれはじめは、あるテーマについて話す活動になっています。ここで、言いたいことがうまく言えないという気付きが得られ、必要な言葉や表現を確認する活動に進み、そうした言葉や表現を使ってさらにおしゃべりを展開する流れになっています。
9. このカリキュラムは、効果的な交流活動を展開するために、「コミュニケーション・ツール」を活用することを前提としています。このツールは、「言葉のツール」と「情報のツール」に分かれています（22ページ参照）。著作物を使用する際は、著作権に気を付けてください。
 - ①「言葉のツール」
これは単語や表現の一覧です。日本語・訳語のほか、必要に応じてイラストを入れることを想定しています。
 - ②「情報のツール」
交流活動で参照する雑誌や写真などの実物や、インターネットの情報などが含まれます。地域の物や学習者が直接関わるものの方がいいでしょう。

【活動の流れと留意点】

・こんな話題で話してみよう！	・おしゃべりのきっかけの部分です。 ・話し始めるのは、学習者でも支援者でも構いません。学習者から話が出にくければ、支援者から話し始めましょう。 ・一人で話し続けないようにします。 ・学習者は、ここでうまく話せなくてもいいです。「言いたいけれど、うまく言えない」というもどかしさを原動力として、次の「言葉を確認しよう！」につなげます。 ・学習者がうまく話せないとき、言葉のツールや情報のツールを必要に応じて示し、助け船を出してもいいでしょう。
-----------------------	--



・言葉を確認しよう！	・「こんな話題で話してみよう！」でうまく言えなかった言葉を、ここで補います。 ・言葉のツールを主に活用します。 ・状況に応じて、言葉のひとつひとつを確認してもいいし、絵を見せて、学習者から言葉を引き出すクイズ形式で進めてもいいです。 ・学習者から質問が出たら、適宜対応します。
-------------------	--



・口に出して言ってみよう！	・「言葉を確認しよう！」で取り上げた単語や表現の中で言いにくいものを、滑らかに言えるように繰り返します。 ・学習者に言ってもらい、スムーズに言えないときや発音に問題があるときは、支援者が手本を示します。
----------------------	---



・ちょっと やってみよう！	・ちょっとした課題をこなします。 ・「一人が言った場所を、他の人は聞き取って地図に書き込む」「一人が説明した踊り方に合わせて、皆で踊ってみる」「やってみたい習い事を、情報誌などから探し出す」などの活動があります。
--------------------------	---

・もっと 話してみよう！	・おしゃべりを広げる部分です。 ・「こんな話題で話してみよう！」で言い足りなかったことを話したり、「言葉を確認しよう！」で確認した言葉や表現などを活用して話したりします。
-------------------------	--



・みんなで話そう！	・さらに話題を広げて、お互いの理解を深める部分です。 ・社会的な視点の話題を加えることで、様々な角度からお互いの考えを出し合います。 ・「あなたの国はこうだ、でも、日本はこうだ」のように、国対国といった見方で違いばかりを取り立てず、学習者と支援者が「あなたと私」という対等な立場で、お互いに共通点と相違点をわかり合った上で、理解を深めていけるといいでしょう。
------------------	---



・今日知ったことや わかったことを 書こう！	・その回の活動を振り返る部分です。 ・学習者だけではなく、支援者も、知ったことやわかったことを書き留めます。 ・「たくさんしゃべって終わる」だけにならないように、書くことで自分が得たものを整理し、捉え直しをするのを目的とします。 ・文章を書くのが目的ではないので、平仮名でもローマ字でも、学習者の母語でも、単語の羅列でも構いません。
---------------------------------------	---

【カリキュラムの使用例】

生活編－４ 地域の生活ルールを知ろう！

○交流のテーマ

生活ルールや常識に関わるさまざまなことについて話し合う。

○コミュニケーション・ツール（以下「ツール」と略す）

【言葉のツール】

①時間・曜日一覧……「～時・～分・～曜日」

②日常の移動手段の言葉一覧

……「車・自転車・バイク・バス・地下鉄・電車・免許証・駐車場・
コインパーキング・パーキングメーター・駐輪場・歩道・
車道・交通ルール・防犯登録」 など

【情報のツール】

①ごみの出し方のちらし ☆☆ヒント☆☆ 住んでいる地域のものを使います。

②ごみ分別をシミュレーションするためのいろいろな物（実物）

……ごみの種類がわかりにくい物を含む

○交流の流れ

交流①ーごみの分別（５０分）

交流②ー身近な交通ルール（４０分）

交流③ー相違点・共通点（２０分）

交流④ーまとめ（１０分）

■ 交流①—ごみの分別（所要時間の目安：50分）

・こんな話題で話してみよう！	・ごみの出し方について困ったことについて話し合う。 - ー・分別方法 ・曜日 など ☆☆ヒント☆☆ ☆「このあいだトースターを捨てようと思ったんですが、燃やせないごみとして捨てていいのかどうか、わからなくて…」のように、学習者または支援者がおしゃべりを始め、話し合います。 ☆言葉が通じないときは、絵を描いたり、ジェスチャーを見せたり、文字を書いたり、媒介語を使ったり、電子辞書を使ったりして伝えましょう。ここでコミュニケーション・ツールを使用してもいいです。
-----------------------	---



・言葉を確認しよう！	・ツールの「ごみの出し方のちらし」「時間・曜日一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。 ☆☆ヒント☆☆ ☆ちらしを見ながら、ごみの種類別（燃やせるごみ、燃やせないごみなど）にどのようなものが当てはまるか、学習者と支援者で確認します。 ☆学習者がちらしの絵を見ても、何であるかわからないものがあるときは、支援者が説明します。 ☆支援者は学習者に、住んでいる地区名（丁目など）を聞きます。 ☆住んでいる地区では、どの種類のごみを何曜日の何時までに出せばいいか学習者と支援者で確認します。 ☆学習者が時間・曜日を言えない場合は、ツールの「時間・曜日一覧」を用いて支援者が言い方を教えます。
-------------------	--



・口に出して 言ってみよう！	・「ごみの出し方のちらし」「時間・曜日一覧」の必要なものについて声に出して言ってみる。 ☆☆ヒント☆☆ ☆学習者が言い、必要に応じて支援者が手本を示します。
---------------------------	---



・ちょっと やってみよう！	・ツールの「ごみ分別をシミュレーションするためのいろいろな物」を使って、学習者と支援者が分類（可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ・粗大ごみ）してみる。 ・分類したごみを何曜日に出すか確認する。 ☆☆ヒント☆☆ ☆「いろいろな物」の代わりに、それらの写真や絵のカードを使用するのもいいです。カードの写真や絵は、「ごみの出し方のちらし」に載っていないもののほうがいいでしょう。
--------------------------	---



・もっと 話してみよう！	・ごみに関する社会問題について話し合う。 - ー・ごみ屋敷 ・資源ごみを集めるおじさん ・カラスの害 など ☆☆ヒント☆☆ ☆「最近、テレビを見ていたら、……」のように、学習者または支援者がおしゃべりを始め、そのことを知っているか、どう思うかなど意見を交換します。
-------------------------	---

■ 交流②—身近な交通ルール（所要時間の目安：40分）

・こんな話題で話してみよう！	・ 日常の移動手段について話し合う。 - ー 普段よく利用するものは？ ・ 運転免許を持っているか など ・ 自転車の利用について話し合う。 - ー 乗れるか ・ 使う頻度は？ ・ 何のために使うか ・ 自転車の価格は？ ・ 暴走自転車に遭ったことは？ ・ 自転車に子供を載せて走るのをどう思うか
-----------------------	--



・言葉を確認しよう！	・ ツールの「日常の移動手段の言葉一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。 ☆☆ヒント☆☆ ☆学習者が絵や訳を見ても何であるかわからないものがあるときは、支援者が説明します。 ☆日本語の部分や訳を隠しておいて、クイズ形式で学習者に言葉を言ってもらえるのもいいです。
-------------------	---



・口に出して言ってみよう！	・ 「日常の移動手段の言葉一覧」の必要なものについて声に出して言ってみる。
----------------------	---



・もっと 話してみよう！	・身近な交通ルールについて話し合う。 ー・駐車・駐輪 ・自転車の防犯登録 ・自転車は歩道を走る？車道を走る？ ・知っていた方がいい道路標識 ・道路上の黄色い凹凸の意味 など ☆☆ヒント☆☆ ☆「最近、自転車で出かけると、停める所を見つけるのが大変」のように、学習者または支援者がおしゃべりを始め、意見を交換します。
-------------------------	---

■ 交流③ー相違点・共通点（所要時間の目安：20分）

・みんなで話そう！	・その他、生活する上でのルールや常識について話し合う。 - ー・たばこのマナー・規制 ・整列する習慣 ・社交辞令 ・快適に生活する方法 など ☆☆ヒント☆☆ ☆ここまでで話し合わなかったことを取り上げて、話し合います。 ☆学習者の国と日本との違いにばかり目を向けるのではなく、個人としての考え方の違いや共通点を重視して、お互い相手を理解することに努めましょう。
-------------------------	---

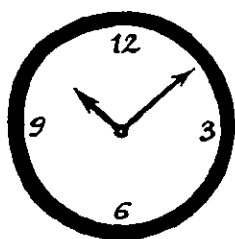
■ 交流④ーまとめ（所要時間の目安：10分）

・今日知ったことや わかったことを 書こう！	☆☆ヒント☆☆ ☆この回の活動を振り返るために、学習者・支援者共に知ったことやわかったことを書き留めます。 ☆文章を書くのが目的ではないので、ひらがなでもローマ字でも、日本語でも学習者の母語でも、また単語の羅列でも構いません。
--	--

【コミュニケーション・ツールの例】

① 【言葉のツール】

①時間・曜日一覧



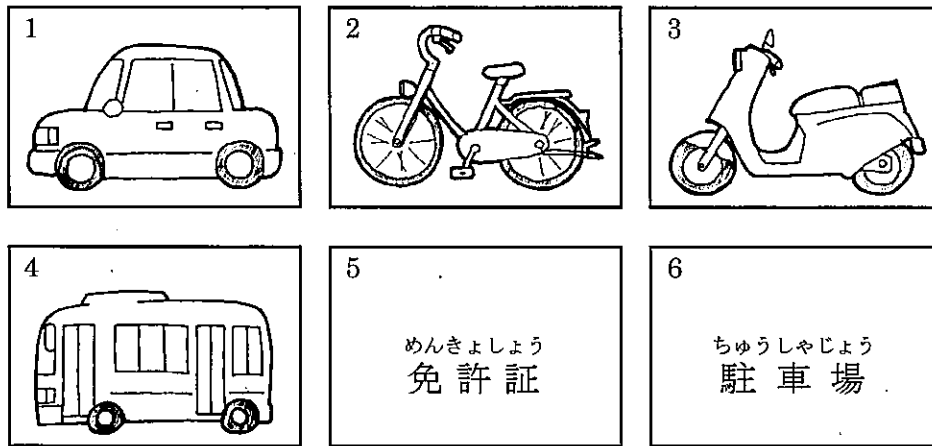
1 : 0 0	いち・じ	1 : 0 1	いつ・ぷん……★
2 : 0 0	に・じ	1 : 0 2	に・ふん
3 : 0 0	さん・じ	1 : 0 3	さん・ぷん……★
4 : 0 0	よ・じ……★	1 : 0 4	よん・ぷん……★
⋮		⋮	
⋮		⋮	
⋮		⋮	
?	なん・じ	?	なん・ぷん……★

★……発音に注意！

カレンダー

にちようび 日曜日	げつようび 月曜日	かようび 火曜日	すいようび 水曜日	もくようび 木曜日	きんようび 金曜日	どようび 土曜日
		ついたち ★1日	ふつか ★2日	みっか ★3日	よっか ★4日	いつか ★5日
むいか ★6日	なのか ★7日	ようか ★8日	ここのか ★9日	とおか ★10日	じゅう いちにち 11日	じゅう ににち 12日
じゅう さんにち 13日	じゅう よっか ★14日	じゅう ごにち 15日	じゅう ろくにち 16日	じゅう しちにち 17日	じゅう はちにち 18日	じゅう くにち ★19日
はつか ★20日	にじゅう いちにち 21日	にじゅう ににち 22日	にじゅう さんにち 23日	にじゅう よっか ★24日	にじゅう ごにち 25日	にじゅう ろくにち 26日
にじゅう しちにち 27日	にじゅう はちにち 28日	にじゅう くにち ★29日	さんじゅう にち 30日	さんじゅう いちにち 31日		

② 日常の移動手段の言葉一覧



・
・
・
・
・

・
・
・
・
・

・
・
・
・
・

	English	Português	...
くるま じどうしゃ 1) 車 / 自動車	car	carro	...
じてんしゃ 2) 自転車	bicycle	bicicleta	...
3) バイク	motorbike	motocicleta	...
4) バス	bus	ônibus	...
めんきょしょう 5) 免許証	driver's license	carteira de motorista	...
ちゅうしゃじょう 6) 駐車場	parking lot	estacionamento	...

・
・
・
・
・

・
・
・
・
・

2 【情報のツール】

①ごみの出し方のちらし

平成19年5月 豊島区清掃環境部

対象地域 駒込1丁目 **開始時期** 平成19年7月から

資源とごみの分け方・出し方が変わります

資源回収は「びん・かん・ペットボトル類」と「紙・布類」の回収日に分け、週2回実施します。

資源 週2回

資源	びん・かん・ペットボトル類	びん	かん	ペットボトル	トレー	プラスチック容器(ボトルタイプ)	出し方のルール
水	びん・かん・ペットボトル類	びん	かん	ペットボトル	トレー	プラスチック容器(ボトルタイプ)	◇びん・かん・ペットボトル すいすいから、それぞれのコンテナに入れる。 ◇トレー・プラスチック容器 すいすいから、ひとつのコンテナに入れる。 ◇紙類 資源物にひらでしる。 ◇古布 袋に入れて、「古布」と書く。
紙・布類	新聞	雑誌	段ボール	厚紙製の箱	包装紙	牛乳パック	古布
木	木材	木材	木材	木材	木材	木材	木材

※新聞・雑誌等は、まず町会などで行っている集団回収に出してください。

燃やすごみ(可燃ごみ) 週2回

プラスチック(資源回収品目を除く)・ゴム・皮革類を「燃やすごみ」へ変更します。

燃やすごみ(可燃ごみ)	プラスチック類	ゴム類	皮革類
燃やすごみ(可燃ごみ)	菓子袋、ラップ、ビニールなど	ホース、長靴、手袋など	靴、財布、かばんなど
燃やすごみ(可燃ごみ)	プリン、たまご、弁当などの容器	マヨネーズ、歯磨き粉などのチューブ容器	電池スチロール製の容器類など
燃やすごみ(可燃ごみ)	CD、ビデオテープ、ボールペンなど	おもちゃ、日用品など	

火 今までの燃やすごみ

今までの燃やすごみ	生ごみ	少量の木の枝、葉花	資源に出せない紙類	食用油	紙おむつ、生理用品など	資源に出せない布類
今までの燃やすごみ	生ごみ	少量の木の枝、葉花	資源に出せない紙類	食用油	紙おむつ、生理用品など	資源に出せない布類

※分け方、出し方の変更にとりません。名称を「可燃ごみ」から「燃やすごみ」へ変更します。

資源・陶器・ガラス(不燃ごみ) 月2回 第2土 第4土

収集日が月2回になります。

資源・陶器・ガラス(不燃ごみ)	小型の金属類(かき、フライパンなど)	小型の家電製品(ドライヤー、ラジオなど)	スプレー缶、ガスライターなど
資源・陶器・ガラス(不燃ごみ)	小型の金属類(かき、フライパンなど)	小型の家電製品(ドライヤー、ラジオなど)	スプレー缶、ガスライターなど
資源・陶器・ガラス(不燃ごみ)	小型の刃物類(はさみ、包丁など)	陶器・ガラス類(茶碗、お皿など)	電池、蛍光灯など

※分け方、出し方の変更にとりません。名称を「不燃ごみ」から「資源・陶器・ガラスごみ」へ変更します。

※大きさがおおむね30cm以上は粗大ごみです。

②ごみ分別をシミュレーションするためのいろいろな物

……実物等のため省略

第3部 カリキュラム

生活編 - 1 買い物に行こう！

○交流のテーマ

買い物に関わるさまざまなことについて話し合う。

○コミュニケーション・ツール（以下「ツール」と略す）

【言葉のツール】

- ①位置関係の言葉一覧……「右・左・まっすぐ・向かい」 など
- ②商品一覧……「食料品・衣料品・日用品・肉・野菜・魚・お惣菜・
お菓子・飲み物・調味料・台所用品・掃除用品・服・靴・
文房具・雑貨」 など
- ③買い物比較テーマ一覧
……「物価・売っている物・お店の形態（デパート・ショッピングモール・
スーパー・コンビニ・露店・個人商店など）・営業時間・休業日・
店員の対応・支払方法（現金・カードなど）・販売量（食べ切りサイズ・
キロ単価など）・過剰包装・エコバッグ」 など
- ④比較の表現一覧……「Aは～けれども、Bは…・Aのほうが～」 など
- ⑤アドバイスの表現一覧
……「～と大丈夫ですよ・～たらどうですか・～ばいいですよ」 など
- ⑥時間・曜日一覧……「～時・～分・～曜日」

【情報のツール】

- ①スーパーのちらし
- ②周辺の略地図

○交流の流れ

交流①－知っている店（４０分）

交流②－比較（３０分）

交流③－買い物失敗談（２５分）

交流④－相違点・共通点（１５分）

交流⑤－まとめ（１０分）

■ 交流①—知っている店（所要時間の目安：40分）

・こんな話題で話してみよう！	・住んでいる地域にどんな店があるか、情報を提供し合う。 — 食料品、衣料品、日用品について、どこにどんな店があるか情報を提供し合う。 ・住んでいる地域以外によく買い物をするところについて、情報を提供し合う。
-----------------------	---



・言葉を確認しよう！	・ツールの「位置関係の言葉一覧」「商品一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
-------------------	---



・口に出して言ってみよう！	・「位置関係の言葉一覧」「商品一覧」の必要なものについて声に出して言ってみる。
----------------------	---



・ちょっとやってみよう！	・二人もしくは少人数のグループになり、一人が自分の知っている店の場所を説明する。他の人は、聞いた場所をツールの「周辺の略地図」に書き込む。 ・説明した人が、その店がどんな店であるか話す。
---------------------	--

■ 交流②ー比較（所要時間の目安：30分）

・こんな話題で話してみよう！	・ツールの「買い物比較テーマ一覧」の中からトピックを選んで、話し合う。
----------------	-------------------------------------



・言葉を確認しよう！	・ツールの「比較の表現一覧」「買い物比較テーマ一覧」「時間・曜日一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
------------	--



・口に出して言ってみよう！	・「比較の表現一覧」「買い物比較テーマ一覧」「時間・曜日一覧」の必要なものについて声に出して言ってみる。
---------------	--



・もっと話してみよう！	・「買い物比較テーマ一覧」の中から「こんな話題で話してみよう！」のところで選ばなかったトピックを選んで、話し合う。
-------------	---

■ 交流③－買い物失敗談（所要時間の目安：25分）

・こんな話題で話してみよう！	・買いたい物が買えなかった経験や、買い物のとき失敗したことについて、話し合う。
----------------	---



・言葉を確認しよう！	・「アドバイスの表現一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
------------	----------------------------------



・口に出して言ってみよう！	・「アドバイスの表現一覧」の必要なものについて声に出して言う。
---------------	---------------------------------



・もっと話してみよう！	・先に出てきた失敗談について、アドバイスの表現を使って情報を交換する。
-------------	-------------------------------------

■ 交流④ー相違点・共通点（所要時間の目安：15分）

・みんなで話そう！	・買い物の話題を通して、エコロジーについて話し合う。 - ー・過剰包装 ・エコバッグ など
------------------	--

■ 交流⑤ーまとめ（所要時間の目安：10分）

・今日知ったことや わかったことを 書こう！	
---------------------------------------	--

生活編-2 食べてみよう！飲んでみよう！

○交流のテーマ

食文化に関わるさまざまなことについて話し合う。

○コミュニケーション・ツール（以下「ツール」と略す）

【言葉のツール】

①料理の言葉一覧

……「肉・魚・野菜・卵・果物・食材・肉料理・魚料理・野菜料理・麺類・
ごはんもの・そば・うどん・ラーメン・すし・てんぷら・すき焼き・
しゃぶしゃぶ・刺身・とんかつ・おでん・天丼・かつ丼・親子丼・
牛丼・お好み焼き・おにぎり・カレー・ハンバーグ・スパゲッティ・
オムライス・グラタン・シチュー・サラダ・サンドイッチ・ピザ・
チャーハン・しゅうまい・餃子・和食・洋食・中華料理・イタリア料理・
フランス料理・韓国料理・エスニック料理・焼く・煮る・蒸す・揚げる・
炒める・炊く・こす・温める・冷やす・冷ます・洗う・切る・量る・
あくを取る・盛り付ける・砂糖・塩・こしょう・しょうゆ・酢・味噌・
みりん・料理酒・ごま油・サラダオイル・オリーブオイル・唐辛子・
わさび・からし・マヨネーズ・ケチャップ・ソース・ドレッシング・
かつおぶし・固形スープ・調味料・包丁・まな板・鍋・ふた・
フライパン・ざる・ボウル・おたま（おたまじゃくし）・
フライ返し・計量カップ・計量スプーン・菜箸・しゃもじ・
電子レンジ・オーブン・炊飯ジャー」 など

②味覚の表現一覧

……「辛い・甘い・酸っぱい・しょっぱい（塩辛い）・苦い・甘酸っぱい・
（いちご）の味がする・ピリッとする・あっさりした・こってりした・
油っこい・味が薄い・味が濃い」 など

③飲み物一覧

……「コーヒー・紅茶・お茶・ウーロン茶・ジュース・コーラ・水（お冷や）・ミネラルウォーター・牛乳（ミルク）・ソフトドリンク・ビール（生・瓶）・ワイン（赤・白）・日本酒（燗・冷）・焼酎（芋・麦・米）・ウイスキー・ブランデー・シャンパン・サワー（グレープフルーツ・ウーロン他）・酎ハイ・アルコール（お酒）」など

④お菓子・デザート一覧

……「和菓子・洋菓子・フルーツ（果物）・アイスクリーム・シャーベット・ケーキ・プリン・ゼリー・チョコレート・ガム・キャンディー・キャラメル・ビスケット・クッキー・ポテトチップス・団子・まんじゅう・餅・せんべい・羊羹・どら焼き・たい焼き・かりんとう・おしるこ・かき氷」 など

【情報のツール】

①料理の本

○交流の流れ

- 交流①ーよく食べる料理（４０分）
- 交流②ーよく飲む飲み物（２５分）
- 交流③ーよく食べるお菓子・デザート（２５分）
- 交流④ー相違点・共通点（２０分）
- 交流⑤ーまとめ（１０分）

■ 交流①—よく食べる料理（所要時間の目安：40分）

・こんな話題で話してみよう！	・日常よく食べる料理、好きな料理、嫌いな料理について紹介し合う。 －・母国の料理・日本料理・その他の料理 ・調理方法（焼く・煮る・蒸す など） ・食材 など
-----------------------	---



・言葉を確認しよう！	・ツールの「料理の言葉一覧」「味覚の表現一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
-------------------	---



・口に出して言ってみよう！	・「料理の言葉一覧」「味覚の表現一覧」の必要なものについて声に出して言ってみる。
----------------------	---



・ちょっとやってみよう！	・自分が好きな料理について、作り方を話したり図示したりして紹介し合う。
---------------------	--

■ 交流②—よく飲む飲み物（所要時間の目安：25分）

・こんな話題で話してみよう！	・ 日常よく飲む飲み物、好きな飲み物、嫌いな飲み物について紹介し合う。 - ー ・ 冷たい飲み物 ・ 温かい飲み物 ・ お茶の種類 ・ ソフトドリンク ・ アルコール飲料 など
-----------------------	---



・言葉を確認しよう！	・ ツールの「飲み物一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
-------------------	--



・口に出して言ってみよう！	・ 「飲み物一覧」の必要なものについて声に出して言う。
----------------------	---



・ちょっとやってみよう！	・ 料理と、それに合う飲み物の組み合わせについて、紹介し合う。
---------------------	---

■ 交流③ーよく食べるお菓子・デザート（所要時間の目安：25分）

・こんな話題で話してみよう！	・日常よく食べるお菓子・デザートや母国の有名なお菓子・デザート、好きなお菓子・デザート、嫌いなお菓子・デザートについて紹介し合う。
-----------------------	--



・言葉を確認しよう！	・ツールの「お菓子・デザート一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
-------------------	---



・口に出して言ってみよう！	・「お菓子・デザート一覧」の必要なものについて声に出して言ってみる。
----------------------	---



・もっと話してみよう！	・季節や年中行事にちなんだお菓子・デザートを紹介し合う。
--------------------	-------------------------------------

■ 交流④ー相違点・共通点（所要時間の目安：20分）

・みんなで話そう！	・食習慣について話し合う。 - ー・外食が多いか、家庭で食べるのが多いか ・家族一緒か、一人一人食べるか ・買って来て食べるか、自宅で作るか ・食事のマナー など
------------------	--

■ 交流⑤ーまとめ（所要時間の目安：10分）

・今日知ったことや わかったことを 書こう！	
---------------------------------------	--

生活編－3 病気になったら！？

○交流のテーマ

病気に関わるさまざまなことについて話し合う。

○コミュニケーション・ツール（以下「ツール」と略す）

【言葉のツール】

①身体部位一覧

……「頭・目・耳・鼻・口・歯・舌・首・のど・肩・腕・ひじ・手・指・
胸・背中・おなか・腰・おしり・足・ひざ」 など

②症状一覧

……「熱がある・食欲がない・寒気がする・具合が悪い・気分が悪い・
鼻水が出る・せきが出る・おなかが痛い・腹痛・頭が痛い・頭痛・
おなかを壊す・下痢・吐き気がする・吐く（もどす）・嘔吐・
めまいがする・やけどをする・けがをする・骨が折れる・骨折・
風邪をひく・インフルエンザ・はしか・水ぼうそう・ぜんそく・
食中毒・花粉症」 など

③診察科目一覧

……「内科・外科・小児科・産婦人科・皮膚科・耳鼻咽喉科・眼科・
歯科・泌尿器科・整形外科・精神科」 など

④医者への指示一覧

……「息を吸って・息を吐いて・おなかを見せて・後ろを向いて・
横になって・膝を立てて・腕をまくって」 など

⑤薬の表現一覧

……「風邪薬・胃薬・胃腸薬・整腸剤・消化剤・下痢止め・睡眠薬・
抗生物質・解熱剤・飲み薬・目薬・塗り薬・座薬・錠剤・カプセル・
粉薬・シロップ・処方箋・薬局・市販薬・診察券・保険証・薬袋・
説明書・食前・食間・食後・～錠・～つ」 など

【情報のツール】

- ①診察券
- ②保険証
- ③薬袋
- ④薬の説明書
- ⑤市販薬のパッケージ
- ⑥自治体などが提供している情報（パンフレット、HP など）

○交流の流れ

- 交流①－けが・病気（20分）
- 交流②－診療科目（40分）
- 交流③－薬の種類と飲み方（25分）
- 交流④－相違点・共通点（25分）
- 交流⑤－まとめ（10分）

■ 交流①一けが・病気（所要時間の目安：20分）

・こんな話題で話してみよう！	・風邪を引くとどうなるか、話し合う。
----------------	--------------------



・言葉を確認しよう！	・ツールの「身体部位一覧」「症状一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
------------	--



・口に出して言ってみよう！	・「身体部位一覧」「症状一覧」の必要なものについて声に出して言ってみる。
---------------	--------------------------------------



・ちょっとやってみよう！	・支援者や他の学習者が、ジェスチャーと表情で症状を示し、症状の名称を学習者が言う。
--------------	---

■ 交流②－診療科目（所要時間の目安：40分）

・こんな話題で話してみよう！	・病気になったときの対処法（民間療法など）について紹介し合う。 ・子供が病気の時、どんな病院に行くか紹介し合う。 ・どんなとき、どんな病院に行くか話し合う。
-----------------------	--



・言葉を確認しよう！	・ツールの「症状一覧」「診療科目一覧」を学習者に配布し、症状と、それに対応する診療科目を確認し合う。 － 診療科目を漢字だけで書いたカード（<u>内科</u>など）を学習者に配布し、「症状一覧」の症状と結びつけるよう支援者が促す。 ・漢字の読み方を確認する。
-------------------	--



・口に出して言ってみよう！	・「診療科目一覧」の必要なものについて声に出して言ってみる。
----------------------	--



・ちょっと やってみよう！	・支援者や他の学習者が、言葉やジェスチャーや表情などで症状を示し、行くべき診療科目を学習者が言う。
--------------------------	--



・言葉を確認 しよう！	・ツールの「医者の指示一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
------------------------	--



・ちょっと やってみよう！	・支援者や他の学習者が、「医者の指示一覧」の指示の言葉を言い、学習者が指示通りに行動する。
--------------------------	--

■ 交流③一薬の種類と飲み方（所要時間の目安：25分）

・こんな話題で話してみよう！	・どんな病気の時、どんな薬を飲むか紹介し合う。
-----------------------	--------------------------------



・言葉を確認しよう！	・ツールの「薬の表現一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
-------------------	---



・口に出して言ってみよう！	・「薬の表現一覧」の必要なものについて声に出して言う。
----------------------	------------------------------------



・ちょっとやってみよう！	・ツールの「薬袋」「薬の説明書」「市販薬のパッケージ」を使って、薬の飲み方を確認し合う。
---------------------	---

■ 交流④－相違点・共通点（所要時間の目安：25分）

・みんなで話そう！	・病気、病院について話し合う。 －・医療保険制度……制度があるか、皆が入っているか、負担は何割か など ・お見舞いに持っていく物 ・出産後の入院期間 など
------------------	---

■ 交流⑤－まとめ（所要時間の目安：10分）

・今日知ったことや わかったことを 書こう！	
---------------------------------------	--

生活編－4 地域の生活ルールを知ろう！

○交流のテーマ

生活ルールや常識に関わるさまざまなことについて話し合う。

○コミュニケーション・ツール（以下「ツール」と略す）

【言葉のツール】

①時間・曜日一覧……「～時・～分・～曜日」

②日常の移動手段の言葉一覧

……「車・自転車・バイク・バス・地下鉄・電車・免許証・駐車場・
コインパーキング・パーキングメーター・駐輪場・歩道・
車道・交通ルール・防犯登録」 など

【情報のツール】

①ごみの出し方のちらし

②ごみ分別をシミュレーションするためのいろいろな物（実物）

……ごみの種類がわかりにくい物を含む

○交流の流れ

交流①－ごみの分別（50分）

交流②－身近な交通ルール（40分）

交流③－相違点・共通点（20分）

交流④－まとめ（10分）

■ 交流①—ごみの分別（所要時間の目安：50分）

・こんな話題で話してみよう！	・ごみの出し方について困ったことについて話し合う。 - ー・分別方法 ・曜日 など
-----------------------	---



・言葉を確認しよう！	・ツールの「ごみの出し方のちらし」「時間・曜日一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
-------------------	--



・口に出して言ってみよう！	・「ごみの出し方のちらし」「時間・曜日一覧」の必要なものについて声に出して言ってみる。
----------------------	--



・ちょっとやってみよう！	・ツールの「ごみ分別をシミュレーションするためのいろいろな物」を使って、学習者と支援者が分類（可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ・粗大ごみ）してみる。 ・分類したごみを何曜日に出すか確認する。
---------------------	---



・ もっと 話してみよう！	・ ごみに関する社会問題について話し合う。 - ー ・ ごみ屋敷 ・ 資源ごみを集めるおじさん ・ カラスの害 など
---------------------------------	---

■ 交流②－身近な交通ルール（所要時間の目安：40分）

・こんな話題で話してみよう！	・ 日常の移動手段について話し合う。 － 普段よく利用するものは？ ・ 運転免許を持っているか など ・ 自転車の利用について話し合う。 － 乗れるか ・ 使う頻度は？ ・ 何のために使うか ・ 自転車の価格は？ ・ 暴走自転車に遭ったことは？ ・ 自転車に子供を載せて走るのをどう思うか
-----------------------	--



・言葉を確認しよう！	・ ツールの「日常の移動手段の言葉一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
-------------------	---



・口に出して言ってみよう！	・ 「日常の移動手段の言葉一覧」の必要なものについて声に出して言ってみる。
----------------------	---



・もっと話してみよう！	・ 身近な交通ルールについて話し合う。 － 駐車・駐輪 ・ 自転車の防犯登録 ・ 自転車は歩道を走る？車道を走る？ ・ 知っていた方がいい道路標識 ・ 道路上の黄色い凹凸の意味 など
--------------------	--

■ 交流③ー相違点・共通点（所要時間の目安：20分）

・みんなで話そう！	・その他、生活する上でのルールや常識について話し合う。 ー・たばこのマナー・規制 ・整列する習慣 ・社交辞令 ・快適に生活する方法 など
------------------	---

■ 交流④ーまとめ（所要時間の目安：10分）

・今日知ったことや わかったことを 書こう！	
---------------------------------------	--

生活編－5 乗り物に乗ろう！

○交流のテーマ

乗り物に関するさまざまなことについて話し合う。

○コミュニケーション・ツール（以下「ツール」と略す）

【言葉のツール】

①乗り物の言葉一覧

……「(路線の名前)・ＩＣカード(スイカ・パスモなど)・
チャージ・定期券・回数券・切符・みどりの窓口・
改札・自動改札・新幹線・グリーン車・乗車券・特急券・
グリーン券・特急・急行・各駅停車・乗り換え・乗り越し・
優先席・女性専用車両・タクシー・車・バス・駐車場」 など

【情報のツール】

①路線図

②道路マップ

③近隣の主要な観光スポットのマップ

④インターネットの路線検索

⑤旅行のガイドブック

○交流の流れ

交流①－乗り物（２０分）

交流②－観光スポット（５０分）

交流③－相違点・共通点（４０分）

交流④－まとめ（１０分）

■ 交流①ー乗り物（所要時間の目安：20分）

・こんな話題で 話してみよう！	・ 乗り物を利用するときに困ったことについて話し合う。 - ー ・ 日常生活で ・ 旅行先で
----------------------------	---



・言葉を確認 しよう！	・ ツールの「乗り物の言葉一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
------------------------	---



・口に出して 言ってみよう！	・ 「乗り物の言葉一覧」の必要なものについて声に出して言う。
---------------------------	--



・もっと 話してみよう！	・ 困ったことが解決したかどうか、もっといい方法がないか話し合う。
-------------------------	---

■ 交流②ー観光スポット（所要時間の目安：50分）

・こんな話題で話してみよう！	・近隣の観光スポットにはどんなところがあるか紹介し合う。 ・その観光スポットへ行ったことがあるか話し合う。 - ー・どうやって行ったか ・どんなところだったか
-----------------------	--



・言葉を確認しよう！	・ツールの「近隣の主要な観光スポットのマップ」に出てくる場所の名前、路線名、駅やバス停の名前などを支援者と確認し合う。
-------------------	---



・口に出して言ってみよう！	・「近隣の主要な観光スポットのマップ」の必要なものについて声に出して言ってみる。
----------------------	--



・ちょっとやってみよう！	・ツールの「近隣の主要な観光スポットのマップ」「路線図」「道路マップ」などを使って、自分が住んでいるところから近隣の観光スポットへの行き方を説明してみる。
---------------------	---



・ もっと話してみよう！	・ ツールの「近隣の主要な観光スポットのマップ」「旅行のガイドブック」を使って、もっと遠くに、行ってみたいところがないか話し合う。 ・ ツールの「近隣の主要な観光スポットのマップ」「旅行のガイドブック」「路線図」「道路マップ」「インターネットの路線検索」を使って、そこへどうやって行けばいいか話し合う。 - ー ・ 短時間で行くには？ ・ 安く行くには？ ・ 乗り換え回数を少なくして、楽に行くには？
----------------------------	---

■ 交流③ー相違点・共通点（所要時間の目安：40分）

・みんなで話そう！	・乗り物に関するさまざまなことについて話し合う。 ー・運賃 ・車中で何をしているか ……居眠りしているか、本を読んでいるか など ・長距離の車中では何をしているか ・車中での携帯の使用 ・その他のマナーについて ……整列乗車、優先席、席を譲るかどうかなど ・女性専用車両 など
-------------------------	--

■ 交流④ーまとめ（所要時間の目安：10分）

・今日知ったことや わかったことを 書こう！	
--	--

生活編－6 **トラブルに遭ったら！？(遺失物・盗難)**

○交流のテーマ

物をなくしたときや盗難に遭ったときどうするか話し合う。

○コミュニケーション・ツール（以下「ツール」と略す）

【言葉のツール】

①トラブルの言葉一覧

……「火事・泥棒・すり・ひったくり・強盗・落とし物・ストーカー・
交通事故・犯罪・被害届・警察・110番・119番」 など

②緊急時の表現一覧

……「助けて・大丈夫ですか・～を呼んでください・どうしましたか・
盗まれました・取られました・落としました・なくしました」 など

【情報のツール】

①緊急時パンフレット……自治体が配布している翻訳版

○交流の流れ

交流①－落とし物（35分）

交流②－盗難（35分）

交流③－相違点・共通点（40分）

交流④－まとめ（10分）

■ 交流①ー落とし物（所要時間の目安：35分）

・こんな話題で話してみよう！	・落とし物をした経験について話し合う。 ・落とし物をしたとき、どうしたか話し合う。
-----------------------	--



・言葉を確認しよう！	・ツールの「トラブルの言葉一覧」「緊急時の表現一覧」を学習者に配布し、落とし物に関する表現を支援者と確認し合う。
-------------------	--



・口に出して言ってみよう！	・「トラブルの言葉一覧」「緊急時の表現一覧」の落とし物に関する表現の必要なものについて声に出して言ってみる。
----------------------	--



・もっと話してみよう！	・落とし物が見つかったかどうか、探し出す方法がほかにあるかどうか話し合う。
--------------------	---

■ 交流②—盗難（所要時間の目安：35分）

・こんな話題で話してみよう！	・泥棒・ひったくり・すりに遭ったことがあるか、あるいは自分の周りにそのような経験をした人がいるか話し合う。 ・泥棒・ひったくりに遭ったとき、どうしたか話し合う。
-----------------------	--



・言葉を確認しよう！	・ツールの「トラブルの言葉一覧」「緊急時の表現一覧」を学習者に配布し、泥棒・ひったくり・すりに関する表現を支援者と確認し合う。
-------------------	---



・口に出して言ってみよう！	・「トラブルの言葉一覧」「緊急時の表現一覧」の泥棒・ひったくり・すりに関する表現の必要なものについて声に出して言ってみる。
----------------------	---



・もっと話してみよう！	・取られたものが戻ってきたかどうか、警察に被害届を出したかどうか、保険を掛けていたかどうか話し合う。
--------------------	--

■ 交流③—相違点・共通点（所要時間の目安：40分）

・みんなで話そう！	・盗難対策について話し合う。 - ー・自宅・銀行・郵便局・コンビニ ・セキュリティー・サービス ・鍵を掛ける習慣 など
------------------	--

■ 交流④—まとめ（所要時間の目安：10分）

・今日知ったことや わかったことを 書こう！	
---------------------------------------	--

生活編-7 **トラブルに遭ったら！？（事故・火事）**

○交流のテーマ

事故・火事など緊急時に関わるさまざまなことについて話し合う。

○コミュニケーション・ツール（以下「ツール」と略す）

【言葉のツール】

①トラブルの言葉一覧

……「火事・泥棒・すり・ひったくり・強盗・落とし物・ストーカー・
交通事故・犯罪・被害届・警察・110番・119番」 など

②緊急時の表現一覧

……「助けて・大丈夫ですか・～を呼んでください・どうしましたか・
盗まれました・取られました・落としました・なくしました」 など

【情報のツール】

①緊急時パンフレット……自治体が配布している翻訳版

○交流の流れ

交流①－交通事故（35分）

交流②－火事（35分）

交流③－相違点・共通点（40分）

交流④－まとめ（10分）

■ 交流①—交通事故（所要時間の目安：35分）

・こんな話題で話してみよう！	・歩いていたり、自転車に乗っていたりしたときに、車やバイクなどにひかれそうになった経験があるか、もし交通事故に遭ったらどうするか話し合う。
-----------------------	--



・言葉を確認しよう！	・ツールの「トラブルの言葉一覧」「緊急時の表現一覧」を学習者に配布し、事故・救急に関する表現を支援者と確認し合う。
-------------------	--



・口に出して言ってみよう！	・「トラブルの言葉一覧」「緊急時の表現一覧」の事故・救急に関する表現の必要なものについて声に出して言ってみる。
----------------------	--



・もっと話してみよう！	・交通事故に遭ったときどうするか話し合う。
--------------------	------------------------------

■ 交流②ー火事（所要時間の目安：35分）

・こんな話題で 話してみよう！	・火事に遭ったことがあるか、実際に見たことがあるか、 もし火事に遭ったり見たりしたらどうするか話し合う。
--------------------	---



・言葉を確認 しよう！	・ツールの「トラブルの言葉一覧」「緊急時の表現一覧」を 学習者に配布し、火事に関する表現を支援者と確認し合う。
----------------	--



・口に出して 言ってみよう！	・「トラブルの言葉一覧」「緊急時の表現一覧」の火事に 関する表現の必要なものについて声に出して言ってみる。
-------------------	--



・もっと 話してみよう！	・火事に遭ったときどうするか話し合う。
-----------------	---------------------

■ 交流③－相違点・共通点（所要時間の目安：40分）

・みんなで話そう！	・地域や自分の国で、どんな犯罪や事故が多いか話し合う。 ・自分でどのような対策をしているか話し合う。
------------------	--

■ 交流④－まとめ（所要時間の目安：10分）

・今日知ったことや わかったことを 書こう！	
---------------------------------------	--

生活編－8 トラブルに遭ったら！？（災害）

○交流のテーマ

災害に関わるさまざまなことについて話し合う。

○コミュニケーション・ツール（以下「ツール」と略す）

【言葉のツール】

①災害・防災の言葉一覧

……「地震・台風・洪水・津波・集中豪雨・地滑り・大雪・雪崩・浸水・
断水・停電・懐中電灯・避難所・避難勧告・注意報・警報・震度・
震源地・災害伝言ダイヤル・道路交通情報・不通」 など

②緊急時の表現一覧

……「助けて・大丈夫ですか・～を呼んでください・どうしましたか・
盗られました・取られました・落としました・なくしました」 など

【情報のツール】

①防災マニュアル……自治体が配布している翻訳版

②職場・学校の規程

○交流の流れ

交流①－地震（45分）

交流②－台風・大雪（35分）

交流③－相違点・共通点（30分）

交流④－まとめ（10分）

■ 交流①—地震（所要時間の目安：45分）

・こんな話題で話してみよう！	・地震に遭ったことがあるか、もし大きな地震に遭ったらどうするか話し合う。
-----------------------	---



・言葉を確認しよう！	・ツールの「災害・防災の言葉一覧」「緊急時の表現一覧」「防災マニュアル」を学習者に配布し、地震に関する表現を支援者と確認し合う。
-------------------	---



・口に出して言ってみよう！	・「災害・防災の言葉一覧」「緊急時の表現一覧」「防災マニュアル」の地震に関する表現の必要なものについて声に出して言う。
----------------------	--



・もっと話してみよう！	・「防災マニュアル」を見ながら、地震に遭ったときどうするか話し合う。 - ー・ビルの非常口の確認 - ー・地域の避難所の確認 など ・どのような地震対策が考えられるか話し合う。 - ー・防災グッズ - ー・家具の転倒防止 など
--------------------	---



・ちょっと やってみよう！	・今、この場で大地震が起きた場合、どうするかやってみる。 ・職場から自宅まで交通機関を使わずに移動する場合、 どういうルートで移動するか、地図を使って確認する。
--------------------------	--

■ 交流②—台風・大雪（所要時間の目安：35分）

・こんな話題で話してみよう！	・台風・大雪に遭ったことがあるか、もし大きな台風が来たり、大雪が降ったりすることがわかったらどうするか話し合う。 ー 天気予報による情報の収集 ・職場・学校の規程確認 など
-----------------------	---



・言葉を確認しよう！	・ツールの「災害・防災の言葉一覧」「緊急時の表現一覧」「防災マニュアル」「職場・学校の規程」を学習者に配布し、台風・大雪に関する表現を支援者と確認し合う。
-------------------	--



・口に出して言ってみよう！	・「災害・防災の言葉一覧」「緊急時の表現一覧」「防災マニュアル」「職場・学校の規程」の台風・大雪に関する表現の必要なものについて声に出して言ってみる。
----------------------	--



・もっと話してみよう！	・大きな台風が来たり、大雪が降ったりした場合に、自分はどうするか話し合う。
--------------------	--

■ 交流③ー相違点・共通点（所要時間の目安：30分）

・みんなで話そう！	・地域や自分の国で、どんな自然災害が多いか、または過去に起きた大きな自然災害について話し合う。 ・自分でどのような対策をしているか・していたか、あるいはどんな対策をしたほうがいいか話し合う。
------------------	---

■ 交流④ーまとめ（所要時間の目安：10分）

・今日知ったことや わかったことを 書こう！	
---------------------------------------	--

お付き合い編－1 まわりの人と知り合おう！

○交流のテーマ

日常の挨拶・自己紹介に関わるさまざまなことについて話し合う。

○コミュニケーション・ツール（以下「ツール」と略す）

【言葉のツール】

①挨拶一覧

……「おはようございます・ありがとうございました・すみません・
お疲れ様でした」 など

②自己紹介の表現一覧

……「よろしくおねがいします・よろしくね・（名前）です・
（名前）と申します・（部署）に配属になりました（名前）です」 など

③名前紹介の表現一覧

……「姓・名・苗字・旧姓・ミドルネーム・ニックネーム・～さん・
～ちゃん・～くん・～という意味です・（人）がつけました・
（人）に～と呼ばれています」 など

【情報のツール】

①日本人に多い名前一覧……「田中・鈴木・佐藤・山本」 など

○交流の流れ

交流①－挨拶・自己紹介（40分）

交流②－名前（50分）

交流③－相違点・共通点（20分）

交流④－まとめ（10分）

■ 交流①－挨拶・自己紹介（所要時間の目安：40分）

・こんな話題で話してみよう！	・挨拶や自己紹介がうまくできなかった経験について話し合う。
-----------------------	--------------------------------------



・言葉を確認しよう！	・ツールの「挨拶一覧」「自己紹介の表現一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
-------------------	--



・口に出して言ってみよう！	・「挨拶一覧」「自己紹介の表現一覧」の必要なものについて声に出して言ってみる。
----------------------	--



・ちょっとやってみよう！	・うまくできなかった挨拶や自己紹介を、もう一度やってみる。 ・学習者の母語を使って、支援者が挨拶や自己紹介をする。
---------------------	--

■ 交流②一名前（所要時間の目安：50分）

・こんな話題で話してみよう！	・自分の名前の構成(姓・名など)や意味、代表的な名前について紹介し合う。
-----------------------	---



・言葉を確認しよう！	・ツールの「名前紹介の表現一覧」「日本人に多い名前一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
-------------------	--



・口に出して言ってみよう！	・「名前紹介の表現一覧」「日本人に多い名前一覧」の必要なものについて声に出して言ってみる。
----------------------	--



・もっと話してみよう！	・「名前紹介の表現一覧」も見ながら、自分の名前・家族の名前の構成や意味について紹介し合う。 ・古い名前・新しい名前、代表的なペットの名前について、紹介し合う。
--------------------	---

■ 交流③ー相違点・共通点（所要時間の目安：20分）

・みんなで話そう！	・あまり親しくない人と話す場合の話題について話し合う。 - ー・年齢 ・未婚・既婚 など
------------------	---

■ 交流④ーまとめ（所要時間の目安：10分）

・今日知ったことや わかったことを 書こう！	
---------------------------------------	--

お付き合い編-2 誘ってみよう！お願いしてみよう！

○交流のテーマ

勧誘・依頼に関するさまざまなことについて話し合う。

○コミュニケーション・ツール（以下「ツール」と略す）

【言葉のツール】

①誘いの表現一覧

……「(チケットをもらった) んだけど・(チケットをもらった) んですが・
行く?・行きますか・行きませんか・行かない?・
行きましょう・～さんも・どう?・どうですか・
悪いけど・すみませんが・～はちょっと…・都合が悪くて…・
いいね・いいですね・行く行く・行こう・行きたい」 など

②依頼の表現一覧

……「(教え) て・(教え) てくれない?・(教え) てくれるとうれしいん
だけど…・(教え) てもらえませんか・(教え) ていただけませんか・
(教え) ていただきたいんですが…・(教え) ていただけると
うれしいんですが…・(教え) ていただけるとありがたいん
ですが…・いいよ・いいですよ・うーん、ちょっとね…・
すみませんが…・申し訳ないんですが…」 など

○交流の流れ

- 交流①ー誘い (40分)
- 交流②ーお願い (40分)
- 交流③ー相違点・共通点 (30分)
- 交流④ーまとめ (10分)

■ 交流①ー誘い（所要時間の目安：40分）

・こんな話題で話してみよう！	・誘ったり誘われたりしたときに、困ったことについて話し合う。 - ー・断ったつもりなのに、伝わらなかった ・誘ったつもりなのに、伝わらなかった など
-----------------------	---



・言葉を確認しよう！	・ツールの「誘いの表現一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
-------------------	---



・口に出して言ってみよう！	・「誘いの表現一覧」の必要なものについて声に出して言ってみる。
----------------------	---



・ちょっとやってみよう！	・お互いに相手を誘ってみる。 - ー・自宅に招く ・いっしょに買い物に行く ・いっしょに観光スポットに行く など
---------------------	---

■ 交流②ーお願い（所要時間の目安：40分）

・こんな話題で話してみよう！	・お願いしたりお願いされたりしたときに、困ったことについて話し合う。 - ー・お願いしたかったのに、伝えられなかった ・お願いされたとき、断れなかった など
-----------------------	--



・言葉を確認しよう！	・ツールの「依頼の表現一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
-------------------	--



・口に出して言ってみよう！	・「依頼の表現一覧」の必要なものについて声に出して言う。
----------------------	-------------------------------------



・ちょっとやってみよう！	・お互いに相手をお願いしてみる。 - ー・いっしょに役所に行ってほしい ・料理を教えてほしい ・言葉を教えてほしい など
---------------------	---

■ 交流③－相違点・共通点（所要時間の目安：30分）

・みんなで話そう！	・誘いやお願いに関するさまざまなことについて話し合う。 －・仕事帰りに、同僚と誘い合って飲みに行くか ・気に入った異性がいたら、食事や飲みに誘うか ・人を招いて、家でパーティーをすることがあるか ・友人にたばこを1本分けてもらったり、隣の席の友人に消しゴムを貸してもらったりするときに、お願いするか、どうお願いするか ・急な用ができたときに、子供を預かってくれた人に、どうお礼をするか など
------------------	--

■ 交流④－まとめ（所要時間の目安：10分）

・今日知ったことや わかったことを 書こう！	
---------------------------------------	--

お付き合い編-3 身だしなみについて話そう！

○交流のテーマ

身だしなみに関わるさまざまなことについて話し合う。

○コミュニケーション・ツール（以下「ツール」と略す）

【言葉のツール】

①身につけるもの一覧

……「スカート・シャツ・セーター・ズボン・ジャケット・ネクタイ・
スーツ・ドレス・ジーンズ・Tシャツ・礼服・着物・下着・
靴下・ストッキング・靴・パンプス・ブーツ・ビジネスシューズ・
帽子・スカーフ・手袋・マフラー・アクセサリー・指輪・ピアス・
ネックレス・眼鏡・サングラス」 など

②美容・理容の言葉一覧

……「美容院・床屋・カット・パーマ・カラーリング・シャンプー・
前髪・横・後ろ・襟足・刈上げ・～センチぐらい切ってください・
そろえてください・軽くしてください・ご指名はありますか・
かゆいところはありませんか・お湯の温度はいかがですか
倒します・お疲れ様でした・タトゥー・香水・化粧品・すっぴん・
口紅・アイシャドー・ファンデーション」 など

③色・柄一覧

……「赤・青・黒・白・黄色・ピンク・水色・茶色・グレー・金色・銀色・
無地・ストライプ・水玉・チェック・花柄」 など

【情報のツール】

- ①ファッション雑誌
- ②通販のカタログ

○交流の流れ

- 交流①—身につけるもの（20分）
- 交流②—美容院・床屋（30分）
- 交流③—身だしなみ（30分）
- 交流④—相違点・共通点（30分）
- 交流⑤—まとめ（10分）

■ 交流①—身につけるもの（所要時間の目安：20分）

・こんな話題で話してみよう！	・どんな店で、身につけるものを買うか、どんなものをよく買うか、紹介し合う。
-----------------------	--



・言葉を確認しよう！	・ツールの「身につけるもの一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
-------------------	--



・口に出して言ってみよう！	・「身につけるもの一覧」の必要なものについて声に出して言う。
----------------------	---------------------------------------



・もっと話してみよう！	・自分の、ファッションに対する好みや、家族に対してどのようなファッションを望むか、話し合う。
--------------------	---

■ 交流②ー美容院・床屋（所要時間の目安：30分）

・こんな話題で話してみよう！	・美容院・床屋で困ったことについて話し合う。
----------------	------------------------



・言葉を確認しよう！	・ツールの「美容・理容の言葉一覧」を学習者に配布し、美容院・床屋に関する表現を支援者と確認し合う。
------------	---



・口に出して言ってみよう！	・「美容・理容の言葉一覧」の美容院・床屋に関する表現の必要なものについて声に出して言ってみる。
---------------	---



・もっと話してみよう！	・美容院・床屋で困ったことについて、解決策を話し合う。 ー・希望の伝え方 ・希望と出来栄えが違った場合、次にお店に行ったときに どう言えば希望通りにしてもらえるか など
-------------	---

■ 交流③—身だしなみ（所要時間の目安：30分）

・こんな話題で話してみよう！	・身だしなみに関して、出かける前に何をするか(シャワー・ひげそり・メイク・ヘアスタイリングなど)、家へ帰ってから何をするか話し合ったり、何をしたら方がいいと思っているか話し合ったりする。
-----------------------	--



・言葉を確認しよう！	・ツールの「美容・理容の言葉一覧」を学習者に配布し、身だしなみに関する表現を支援者と確認し合う。
-------------------	---



・口に出して言ってみよう！	・「美容・理容の言葉一覧」の身だしなみに関する表現の必要なものについて声に出して言ってみる。
----------------------	---



・もっと話してみよう！	・身だしなみに注意しなければならない時はいつか、それはなぜか話し合う。
--------------------	--

■ 交流④ー相違点・共通点（所要時間の目安：30分）

・みんなで話そう！	・どんなとき（結婚式・お葬式・入学式・卒業式・面接など）、 どんな服を着るか、そのとき、お化粧はどうするが話し合う。 ・周囲の、いろいろな世代のファッションについて話し合う。
------------------	---

■ 交流⑤ーまとめ（所要時間の目安：10分）

・今日知ったことや わかったことを 書こう！	
---------------------------------------	--

お付き合い編-4 趣味について話そう！

○交流のテーマ

趣味・好きなことに関わるさまざまなことについて話し合う。

○コミュニケーション・ツール（以下「ツール」と略す）

【言葉のツール】

①趣味・習い事の言葉一覧

……「映画・コメディ・ホラー・ドキュメンタリー・SF・
ラブストーリー・ファンタジー・サスペンス・音楽・クラシック・
演歌・J-pop・ジャズ・ロック・ピアノ・ギター・バイオリン・
スポーツ・サッカー・野球・バスケットボール・テニス・柔道・
剣道・ボクシング・プロレス・水泳・ゴルフ・スキー・
スノーボード・サーフィン・ダンス・旅行・茶道（お茶）・
華道（お花）・書道（習字）・読書・ブログ・そろばん・稽古・
練習・レッスン・観戦・鑑賞・～のが好きです・趣味は～です・
～にはまっています」 など

【情報のツール】

①趣味に関係した実物や写真

②習い事の情報誌

③ソーシャル・ネットワーキング・サービス（例：mixiなど）

○交流の流れ

交流①ー趣味・好きなこと（35分）

交流②ー習い事（45分）

交流③ー相違点・共通点（30分）

交流④ーまとめ（10分）

■ 交流①—趣味・好きなこと（所要時間の目安：35分）

・こんな話題で話してみよう！	・ツールの「趣味に関係した実物や写真」を使って、趣味や好きなことについて話し合う。
----------------	---



・言葉を確認しよう！	・ツールの「趣味・習い事の言葉一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
------------	---------------------------------------



・口に出して言ってみよう！	・「趣味・習い事の言葉一覧」の必要なものについて声に出して言う。
---------------	----------------------------------



・もっと話してみよう！	・自分や家族の趣味・好きなことについて話し合う。
-------------	--------------------------

■ 交流②ー習い事（所要時間の目安：45分）

・こんな話題で話してみよう！	・今している習い事や、これまでの習い事の経験について話し合う。
-----------------------	--



・言葉を確認しよう！	・ツールの「趣味・習い事の言葉一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
-------------------	--



・口に出して言ってみよう！	・「趣味・習い事一覧」の必要なものについて声に出して言う。
----------------------	--------------------------------------



・ちょっとやってみよう！	・これからやってみたい習い事を、ツールの「習い事の情報誌」「ソーシャル・ネットワーキング・サービス」などを使って探してみる。
---------------------	---

■ 交流③ー相違点・共通点（所要時間の目安：30分）

・みんなで話そう！	・子供の習い事について話し合う。 - ー・やらせたい習い事 ・人気の習い事 ・習い事のかけもち など
------------------	---

■ 交流④ーまとめ（所要時間の目安：10分）

・今日知ったことや わかったことを 書こう！	
---------------------------------------	--

お付き合い編－5 家族を紹介しよう！

○交流のテーマ

家族に関わるさまざまなことについて話し合う。

○コミュニケーション・ツール（以下「ツール」と略す）

【言葉のツール】

①親族名称一覧

……「父・母・兄・姉・弟・妹・祖父・祖母・おじ・おば・甥・姪・
いとこ・家族・親戚」 など

②家族紹介の表現一覧

……「～歳・～人家族・出身・職業・～をしています・まじめ・明るい・
口うるさい・厳しい・放任主義・おとなしい・優しい・太っている・
やせている・背が高い・背が低い・髪が薄い・ひげをはやしている」
など

③家事一覧

……「掃除・洗濯・買い物・食事の支度・食事の後片付け・風呂掃除・
トイレ掃除・犬の散歩・送り迎え・水やり・育児・～の世話・介護」
など

【情報のツール】

①家族の写真

○交流の流れ

交流①－家族紹介（30分）

交流②－家族の役割分担（40分）

交流③－相違点・共通点（40分）

交流④－まとめ（10分）

■ 交流①—家族紹介（所要時間の目安：30分）

・こんな話題で話してみよう！	・ツールの「家族の写真」を使って、自分の家族について紹介し合う。「家族の写真」がない場合は、家系図を書いて、紹介し合う。
----------------	--



・言葉を確認しよう！	・ツールの「親族名称一覧」「家族紹介の表現一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
------------	---



・口に出して言ってみよう！	・「親族名称一覧」「家族紹介の表現一覧」の必要なものについて声に出して言ってみる。
---------------	---



・もっと話してみよう！	・家族や親戚を紹介し合う。
-------------	---------------

■ 交流②一 가족의 역할 분담 (所要時間の目安：40分)

・こんな話題で話してみよう！	・夫・妻・子供などがそれぞれ担当している家事について紹介し合う。
-----------------------	---



・言葉を確認しよう！	・ツールの「家事一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
-------------------	---------------------------------------



・口に出して言ってみよう！	・「家事一覧」の必要なものについて声に出して言ってみる。
----------------------	-------------------------------------



・もっと話してみよう！	・夫・妻・子供などが今、担当している家事と、望ましい家事の分担について話し合う。
--------------------	---

■ 交流③ー相違点・共通点（所要時間の目安：40分）

・みんなで話そう！	・家族のあり方について話し合う。 - ー・家族と過ごす時間はどのぐらいか ・仕事と家族とどちらを優先するか ・配偶者の家族とのコミュニケーションはどうか など
------------------	--

■ 交流④ーまとめ（所要時間の目安：10分）

・今日知ったことや わかったことを 書こう！	
---------------------------------------	--

お付き合い編－6 年中行事について話そう！

○交流のテーマ

年中行事に関わるさまざまなことについて話し合う。

○コミュニケーション・ツール（以下「ツール」と略す）

【言葉のツール】

①年中行事の言葉一覧

……「お正月・成人式・節分・豆まき・バレンタインデー・ひな祭り・
ひな人形・ホワイトデー・卒業・入学・子供の日・五月人形・
ゴールデンウィーク・七夕・短冊・お盆・盆踊り・お祭り・
おみこし・花火大会・お彼岸・七五三・クリスマス・大みそか・
地域の行事」 など

②踊りの表現一覧

……「(手を) 上げて・回って・進んで・下がって・右手・左手・前・後ろ・
(一) 歩・休み」 など

【情報のツール】

①カレンダー

②地域の行事の写真やビデオ

③ひな人形・五月人形のカタログ

④踊りのDVDや曲のCD

⑤踊り方のマニュアル

○交流の流れ

交流①－年中行事（40分）

交流②－踊り（50分）

交流③－相違点・共通点（20分）

交流④－まとめ（10分）

■ 交流①一年中行事（所要時間の目安：40分）

・こんな話題で話してみよう！	・ツールの「地域の行事の写真やビデオ」などを使って、地域（学習者の母国の地域も含む）の行事を紹介し合う。
----------------	--



・言葉を確認しよう！	・ツールの「年中行事の言葉一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
------------	-------------------------------------



・口に出して言ってみよう！	・「年中行事の言葉一覧」の必要なものについて声に出して言う。
---------------	--------------------------------



・もっと話してみよう！	・ツールの「カレンダー」を使って、年中行事について紹介し合う。 ー・その日に何をするか ・由来は何か など
-------------	---

■ 交流②一踊り（所要時間の目安：50分）

・こんな話題で話してみよう！	・地域の人と一緒に踊る機会があるか、ある場合はどんな時に踊るのか、由来は何か話し合う。 ・ペアで踊るか、輪になって踊るか紹介し合う。 ・踊り方を教え合う。
-----------------------	---



・言葉を確認しよう！	・ツールの「踊りの表現一覧」を学習者に配布し、支援者と確認し合う。
-------------------	---



・口に出して言ってみよう！	・「踊りの表現一覧」の必要なものについて声に出して言う。
----------------------	--



・ちょっとやってみよう！	・「踊りの表現一覧」を見ながら、踊り方の説明をする。他の人は、説明どおりに踊ってみる。 ・ツールの「踊りのDVDや曲のCD」に合わせて、みんなで踊ってみる。
---------------------	---

■ 交流③ー相違点・共通点（所要時間の目安：20分）

・みんなで話そう！	・自分が年中行事にどう関わっているか話し合う。 - ー・今、住んでいる地域の年中行事に参加するか、しないか それはどうしてか ・母国の年中行事を日本でも行っているか それはどうしてか
------------------	--

■ 交流④ーまとめ（所要時間の目安：10分）

・今日知ったことや わかったことを 書こう！	
---------------------------------------	--

お付き合い編-7 困ったこと・びっくりしたこと について話そう！

○交流のテーマ

困ったことやびっくりしたことについて話し合う。

○コミュニケーション・ツール（以下「ツール」と略す）

【言葉のツール】

①困ったこと・びっくりしたことテーマ一覧

……「地震・（ゴミ・猫・犬）屋敷・自動販売機・テレビ・電車の時間・
活き造り・各国料理のレストラン・温泉・乗り物での居眠り・
横断歩道がないところでの横断・接客業の人たちの態度・
見知らぬ人との会話・子供の学校・近所付き合い」 など

②困ったこと・びっくりしたことの表現一覧

……「～ちゃった・～てしまいました・びっくりしました・驚きました・
困ってしまったんです・（びっくりした）のは（自動販売機が多い）
ことです・（自動販売機が多）くて、（びっくりしました）」 など

【情報のツール】

①旅行のガイドブック

②ニュース

③インターネットで得た情報

○交流の流れ

交流①ーびっくりしたこと（４０分）

交流②ー困ったこと（４０分）

交流③ー相違点・共通点（３０分）

交流④ーまとめ（１０分）

■ 交流①ーびっくりしたこと（所要時間の目安：40分）

・こんな話題で話してみよう！	・引っ越し先や旅行先でびっくりしたこと、テレビや雑誌を見ていてびっくりしたことなどについて話し合う。
----------------	--



・言葉を確認しよう！	・ツールの「困ったこと・びっくりしたことの表現一覧」を学習者に配布し、びっくりしたことに関する表現を、支援者と確認し合う。
------------	---



・口に出して言ってみよう！	・「困ったこと・びっくりしたことの表現一覧」のびっくりしたことに関する表現の必要なものについて声に出して言う。
---------------	---



・もっと話してみよう！	・ツールの「困ったこと・びっくりしたことテーマ一覧」の中から「こんな話題で話してみよう！」のところで選ばなかったトピックを選んで、話し合う。
-------------	--

■ 交流②—困ったこと（所要時間の目安：40分）

・こんな話題で話してみよう！	・引っ越し先や旅行先で困ったこと、普段の生活で困ったことや困っていることについて話し合う。
-----------------------	--



・言葉を確認しよう！	・ツールの「困ったこと・びっくりしたことの表現一覧」を学習者に配布し、困ったことに関する表現を、支援者と確認し合う。
-------------------	---



・口に出して言ってみよう！	・「困ったこと・びっくりしたことの表現一覧」の困ったことに関する表現の必要なものについて声に出して言ってみる。
----------------------	--



・もっと話してみよう！	・ツールの「困ったこと・びっくりしたことテーマ一覧」の中から「こんな話題で話してみよう！」のところで選ばなかったトピックを選んで、話し合う。
--------------------	---

■ 交流③一相違点・共通点（所要時間の目安：30分）

・みんなで話そう！	・困ったことやびっくりしたことに接した当時の自分と、今の自分とではどう違うか、また、今も変わらない点は何か話し合う。 ・自分が当たり前だと思うこととは違うことに接したときに、どうしたらいいか話し合う。
------------------	--

■ 交流④一まとめ（所要時間の目安：10分）

・今日知ったことや わかったことを 書こう！	
---------------------------------------	--

平成 19 年度文化庁委嘱
「生活者としての外国人」に対する日本語教育事業
外国人に対する実践的な日本語教育の研究開発事業報告書

対話を中心とした交流活動のカリキュラム

平成 20 年 3 月 31 日
学校法人吉岡教育学園
東京都豊島区高田 3-18-14
TEL : 03-3987-7001
FAX : 03-3987-7345
URL : <http://www.jp-sji.org/>